

## 係留漁船の乗揚・転覆が多発！

令和6年1月21日から22日にかけて発達した低気圧による強風や高波の影響で、宮城県内複数の漁港に係留中の漁船計7隻が乗揚や転覆する事故が発生しました。いずれも無人のため負傷者等の発生はありませんでしたが、船首部が折損する等大きな被害がありました。今回の低気圧は東の風が強いことで、太平洋側の港で強風や高波の影響が大きくなり事故が発生したと考えられます。このような事故を防止するため、事前に風向風速等の気象情報を入手し、早めに荒天対策を行いましょう。



乗揚・転覆の状況

### 【荒天時、係留船舶の事故を防止するためのポイント】

- 係留索を点検するとともに、索の本数を増やす等の係留強化。
- 可能であれば、船舶を陸揚げ（固縛）。
- 擦れあて、防舷物は適切な位置に、適切な数量を設置。
- 開口部は確実に閉鎖。
- 係留索は高潮等による潮位変化を考慮して調整。

発達した低気圧が接近している時に、船や海を確認することは大変危険です。必ず、事前に対策をしまししょう！！



第二管区海上保安本部

宮城県塩釜市貞山通3-4-1

海の安全推進本部

(代表) 022-363-0111

海の安全情報Q



漁船かわら版Q

